

2024年1月12日（金）

マイナ保険証支援金セミナー＆報酬改定のプチお知らせ

アフターコロナの医療機関経営における 医療DXの推進について



公益社団法人

日本医業経営コンサルタント協会

Japan Association of Healthcare Management Consultants

会 長 川原 丈貴

本日の内容

- I. **アフターコロナにおける医療機関経営**
- II. マイナ保険証・電子処方箋の導入
- III. コンサルタントから見た医療DX

年度別の損益率の状況

		H29年度	H30年度	R元年度	R 2 年度	R3年度	R4年度
一般病院	全体	▲3.0%	▲2.7%	▲3.1%	▲6.9% (0.4%)	▲5.5% (3.7%)	▲6.7% (1.4%)
	医療法人	2.6%	2.8%	1.8%	0.1% (2.3%)	▲0.2% (4.1%)	▲1.3% (3.3%)
一般診療所	医療法人	6.1%	6.0%	6.5%	3.8% (4.2%)	7.1% (8.7%)	8.3% (9.7%)
	個人	30.2%	29.8%	32.5%	29.2% (30.0%)	29.8% (32.4%)	32.0% (33.2%)
歯科診療所	医療法人	8.9%	9.1%	6.6%	6.3% (7.1%)	9.0% (9.6%)	8.4% (8.7%)
	個人	28.0%	28.4%	29.7%	29.1% (30.1%)	26.7% (27.6%)	25.9% (26.2%)
保険薬局	法人	6.8%	5.4%	6.6%	6.4% (6.6%)	5.7% (5.9%)	5.4% (5.4%)
	個人	10.7%	9.8%	11.4%	9.9% (10.4%)	10.4% (11.0%)	11.2% (11.4%)

出所：第24回医療経済実態調査の概要を改編：()内はコロナ補助金を含んだ損益率

病院の患者数・単価の状況

2019年6月を100とした比較

(単位：%)

	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6
入院延患者数	100	88.0	89.9	91.2	91.7
外来延患者数	100	92.4	98.3	101.4	99.5
一人一日当たり単価（入院）	100	107.3	111.3	113.4	114.5
一人一日当たり単価（外来）	100	107.9	109.0	110.6	113.8
一病院当たり診療収益（入院＋外来）	100	95.6	103.3	108.2	110.6
一病院当たり診療収益（入院）	100	93.5	100.4	105.4	107.4
一病院当たり診療収益（外来）	100	100.4	109.5	114.4	117.7

延患者数：n=419

単価・診療収益：n=320

アフターコロナにおける医療機関経営

- 1) 受療行動の変化
- 2) 物価高騰、賃上げ
- 3) 人材難
- 4) オンラインをめぐる意識と技術の変化

本日の内容

- I. アフターコロナにおける医療機関経営
- II. マイナ保険証・電子処方箋の導入**
- III. コンサルタントから見た医療DX

社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院—積極的な周知広報—

- 令和4年10月1日よりオンライン資格確認の運用を開始
- 6月は1日平均で約8.4%の患者がマイナ保険証を利用
- マイナ保険証の利用者数は、運用開始時（令和4年10月）：206人に比べ、現在（令和5年6月）：1070人と約5倍伸びている。
- マイナ保険証のカードリーダーを、外来総合窓口、入退院受付、救急センター受付にそれぞれ1台ずつ設置

■施設概要

医療機関名称：仁医会 牧田総合病院
理事長：荒井 好範
院長：小谷 奉文
所在地：〒144-8501
大田区西蒲田 8丁目20番1号
TEL：03-6428-7500
ホームページ：<https://www.makita-hosp.or.jp>



■受付窓口

- マイナ保険証のカードリーダーを、外来総合窓口、入退院受付、救急センター受付にそれぞれ1台ずつ設置（写真は外来総合受付）
- マイナ保険証の利用促進や、費用負担（診療報酬加算）等に関するポスターや説明書等を受付窓口等で掲示。



■患者向けの独自資料

- 独自に作成したパウチ（右記）を患者それぞれに提示し、マイナンバーカードの持参や情報取得の同意等を聞き取り。患者それぞれの利用促進の広報に努めている。

【初診・再診の患者さんへ】

マイナ保険証による診療情報取得の説明書(問診票)

- 当院は診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。
- 正確な情報を取得・活用するため、マイナ保険証の利用にご協力をお願いいたします。

あてはまる箇所にチェックのしるしを、フロントスタッフにご提示ください

- ① マイナンバーカードを ☐ 持ってきました。 ☐ 持っていない または 家にあります。

- ② マイナ保険証による診療情報取得に ☐ 同意します。 ☐ 同意しません。

取得する診療情報

・保険証情報
・住所情報
・過去の健診情報
・過去のお薬情報

2023年4月の診療報酬改定により、マイナンバーカードの所持または同意の有無により初診または再診時の窓口負担金額が変わることがあります。マイナンバーカードを持参されていない場合やマイナ保険証による診療情報取得に同意されない場合は初診料に6点が加算されます。マイナンバーカードを持参され、マイナ保険証による診療情報取得に同意された場合は初診料に2点が加算されます。マイナンバーカードの破損等で読み取りできない場合は6点の加算になります。再診時にマイナ保険証による診療情報取得に同意されない場合は2点が加算されます。

※医療情報・システム基盤整備体制充実加算

初診時：【同意なし】6点 【同意あり】2点
再診時：【同意なし】2点 【同意あり】0点
1点は10円で総診療点数により負担金額が変わります。

東京慈恵会医科大学附属病院 マイナンバーカード専用会計レーンの活用

- 令和3年12月23日よりオンライン資格確認の運用を開始
- マイナンバーカードでのオンライン資格確認の件数が多い（直近令和5年6～7月では、全国の医療機関等で1番実施件数が多い）
- 初診患者は、受付時に受付窓口にてオンライン資格確認を行い、再診患者は再来受付機を利用するため、会計時に資格確認を行っている
- マイナンバーカード利用者に対して、会計時の専用レーンを設けている
- 顔認証付きカードリーダーは5台（初診窓口2台、計算窓口1台、産科外来受付窓口1台、夜間・時間外窓口1台）設置している

■施設概要

医療機関名称：東京慈恵会医科大学附属病院

理事長：栗原 敏

院長：小島 博己

所在地：

〒105-8471

東京都港区西新橋3-19-18

TEL：0570-03-2222

ホームページ：

<https://www.hosp.jikei.ac.jp/>



■マイナンバーカード専用会計レーン

- 会計時に患者の資格情報を確認。
- マイナンバーカード専用会計レーンを設けることで、会計時間、患者の待ち時間を短縮。



出所：厚生労働省

■ICT化の促進

- 勤務管理をスマホを活用し、医師の働き方改革を行っている。
（Beaconを利用し、医師の滞在した場所・時間を特定している）
- 患者は、LINEを活用することで、診察の待ち状態を把握することができる。
- 後払いの決済をおこなえば、何もせずに帰ることができる。



大塚眼科クリニック マイナンバーカードを診察券として活用ー

- 令和4年5月14日よりオンライン資格確認の運用を開始
- 運用開始施設の中でもマイナンバーカードでのオンライン資格確認の件数が多い（令和5年1月の利用実績では、全国の医科診療所で2番目に多い）
- 患者に対して、マイナンバーカードを持参いただくよう積極的な働きかけをしており、受診患者の7割程度がマイナンバーカードで受診している
- 運用開始後、「受付作業の削減」、「本人確認の特定」ができており、オンライン資格確認に大きなメリットを感じている
- 独自の取り組みとして、オンライン資格確認導入を機に診察券発行を廃止し、結果として診察券発行機、診察券連携システム、診察券カードの費用を削減した（月額数万円削減）
- 顔認証付きカードリーダーはパナソニックコネク社を利用

■施設概要

医療機関名称：大塚眼科クリニック
院長：大塚 宏之
診療科科目：眼科
所在地：
〒210-0007
川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前
タワーリパーク7F
TEL：044-200-7773
ホームページ：
<https://otsukaganka.jp/>



■患者向けの独自掲示物

- マイナンバーカードの保険証利用を促すポスター、ステッカーをクリニック入り口に掲示。
- マイナンバーカード持参を促すポスターを患者の待合室に掲示。



■マイナンバーカードの診察券利用詳細

- ダイナミクス社の電子カルテシステムを使用。
- マイナンバーカードでの資格確認、保険証での資格確認を行うことで患者受付一覧画面に取り込まれ、保険証確認のチェックボックスにチェックが入る。
- 患者名をクリックすることで資格情報が閲覧でき、引用も可能。
- 薬剤情報、特定健診情報は電子カルテシステムに取り込み、PDFで閲覧している。



おかむね医院 ―診療/薬剤・特定健診等情報の活用―

- 令和3年3月26日よりオンライン資格確認の運用を開始
- 特定健診等情報の閲覧回数が多い（直近令和5年8月で、182回閲覧で医科診療所（9万）の中で752番目に多い）
- 診療/薬剤情報の閲覧回数が多い（直近令和5年8月で、573回閲覧で医科診療所（9万）の中で1,145番目に多い）
- 受付のプリンターで薬剤/診療情報をプリントアウトし診察室で活用している。
- 診療/薬剤情報を事前に閲覧することで、重複処方を避けることができる。
- 顔認証付きカードリーダーは1台設定している

■施設概要

医療機関名称：おかむね医院
院長：岡宗 眞一郎
所在地：
〒517-0209
三重県志摩市磯部町恵利原1530
TEL：0599-55-3333



■診療/薬剤・特定健診等情報の活用

- 受付のプリンターで薬剤/診療情報をプリントアウトし診察室で閲覧（他院での薬剤/診療情報がある場合、受付スタッフが「他院あり」という付箋を貼ったり、医療機関名、薬局名、薬剤名にマーカーで印を付けたりしている）
- 薬剤/診療情報を閲覧することで、患者に伺わなくても服薬状況を把握することができ、重複処方の防止や副作用の確認ができる



日本調剤 御成門薬局 ―独自ポスター・デジタルサイネージの活用―

- 令和3年3月26日よりオンライン資格確認の運用を開始
- マイナンバーカードでのオンライン資格確認の件数が多い（直近令和5年7月、薬局（約6万施設）の中で166番目に実施件数が多い）
- 診療/薬剤情報を活用している（直近令和5年7月で、月間125回閲覧）
- 利用者に対して、積極的にマイナンバーカードの利用を案内している（マイナンバーカードが利用できる薬局であることを独自のポスターを作成し周知している）
- 顔認証付きカードリーダーは1台設定している

■施設概要

医療機関名称：日本調剤 御成門薬局
代表取締役社長：三津原 庸介
所在地：
〒105-0003
東京都港区西新橋3-22-8 NTT芝ビル1 F
TEL：03-3433-8781
ホームページ：
<https://www.nicho.co.jp/tenpo/onarimon/>



■職員によるマイナンバーカードの利用の周知広報

- マイナンバーカードの利用促進について、独自のポスターを作成している。
- 受付職員が利用者に積極的にマイナンバーカードを持参しているか声掛けを行っている。
- マイナンバーカードを持ってきていない利用者については、次回以降持ってくるように周知のうえ、声掛けした情報を管理し、次回来局時にまた声掛けを行っている。

■デジタルサイネージの活用

- 待合室の液晶に、顔認証付きカードリーダーの利用方法等の動画を放映している。



東京医療センター

令和5年12月12日(火)マイナ保険証専用レーンの運用を開始



出所：厚生労働省

投下資金の回収

1) 診療報酬

2) 補助金

3) 税制優遇

本日の内容

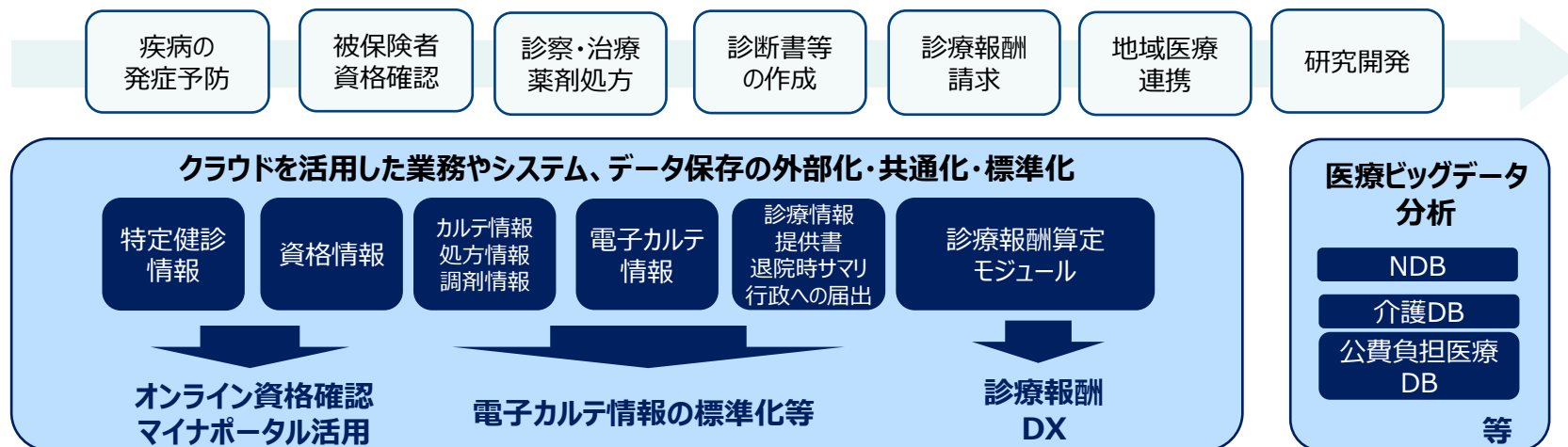
- I. アフターコロナにおける医療機関経営
- II. マイナ保険証・電子処方箋の導入
- III. コンサルタントから見た医療DX**

DXとは

DXとは、「Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）」の略称で、デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える（Transformする）ことである。
（情報処理推進機構DXスクエアより）

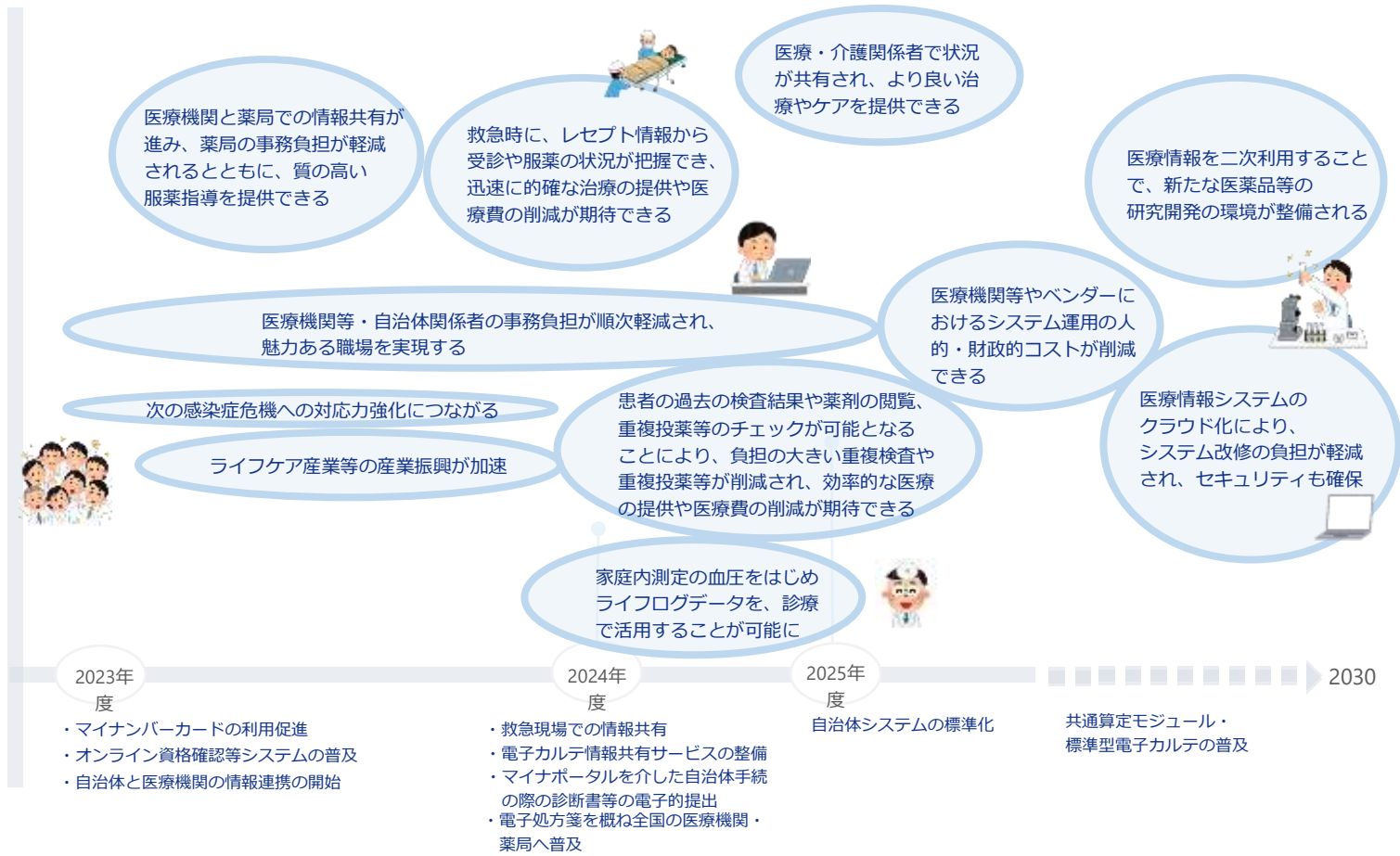
医療DXとは

医療DXとは、保健・医療・介護の各段階（疾病の発症予防、受診、診察・治療・薬剤処方、診断書等の作成、診療報酬の請求、医療介護の連携によるケア、地域医療連携、研究開発など）において発生する情報やデータを、全体最適された基盤（クラウドなど）を活用して、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えることと定義できる。



医療DXのメリット(イメージ)【医療・介護従事者、保険者・ベンダー等関係者】

第2回医療DX推進本部
資料4（令和5年6月2日）



医療経営コンサルタントの役割

医療D Xは医療機関が生き残るために避けて通れない

（背景）労働人口減少時代における人材不足

I C Tの進展

超高齢社会（在宅患者増加への対応等）

（効果）医療の質の向上（情報共有）

効率化（事務負担軽減・重複投薬等・システム関連投資）

（優位）早く取り組み地域住民・潜在医療従事者等にP R

D Xとは、デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える（Transformする）こと。

経営トップは、コロナで変化した受療行動等にあう自院の方向性を示し、医療D Xを推進し、スタッフの意識を含め組織改革を行うことが求められている。

認定登録 医療経営コンサルタントは、医療D Xを推進する医療機関に寄り添っていく。



公益社団法人

日本医業経営コンサルタント協会

Japan Association of Healthcare Management Consultants

ご清聴ありがとうございました。

<協会本部事務局>

〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザ5階

TEL 03-5275-6996 / FAX 03-5275-6991

Email info@jahmc.or.jp

URL <https://www.jahmc.or.jp/>

